



こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議

子どもの自殺予防

～学校教育の中でできること・すべきこと～



窪田由紀

九州産業大学 /

児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議主査





子どもの自殺予防



• 学校における自殺予防

• すべての児童生徒へのアプローチ



- リスクを抱えた子どものゲートキーパーの養成
- 現在の危機に留まらず、生涯を通じてのメンタルヘルスの基礎作り
- 潜在的なハイリスク群

・内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」(2013)

ー誰にも相談しない若者19.9%

・内閣府「子供・若者の意識に関する調査」(2017、2020)

ーどこにも相談できる人がいない23.1% 21.8%

ーどこにも助けてくれる人がいない12.7%、11.3%

• 地域の拠点としての学校

- 教師をはじめとする信頼できる大人との出会い



子どもの自殺予防～これまでの取組

国

文部科学省

- 2006 自殺対策基本法、自殺対策総合大綱策定
- 2006 児童生徒の自殺予防に向けた取組に関する検討会
- 2007 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議
- 2009 「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」
- 2010 「子供の自殺が起きた時の緊急対応の手引き」
米国視察（マサチューセッツ州、メイン州）
- 2011 「子供の自殺が起きた時の背景調査の指針」
- 2014 「子供に伝えたい自殺予防-学校における自殺予防教育導入の手引き」
- 2016 自殺対策基本法の改正：学校における心の健康の保持に係る教育又は啓発
- 2017 自殺総合対策大綱改定：「SOSの出し方に関する教育」努力義務
- 2021 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議「審議のまとめ」
- 2022 自殺総合対策大綱改定：「SOSの出し方に関する教育」充実

第Ⅰ部

第2章コロナ禍における児童生徒の自殺予防等のために必要な今後の施策

- 1. すべての児童生徒を対象とする心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進
 - (1) 改正後の自殺対策基本法第17条に規定された「心の健康の保持に係る教育及び啓発の推進等」
 - 各人が共に尊重し合う意識の涵養、心理的負担を受けた場合の対処の方法、心の健康の保持に係る教育の推進。
 - (2) 必要なマンパワーの確保や体制整備
 - いじめ防止や不登校の未然防止等にも資する心の健康教育の体系化。
 - 心の健康の健康の保持増進に係る教育の実施時間の確保。
 - スクールカウンセラー等を事前研修、指導案・教材作成への助言、チームティーチング等に活用することで、担任等児童生徒に日常的にかかわる教員が早期の問題認識、援助希求的態度を促進するための教育を効果的に実施する体制の整備。
- 2. ハイリスクな児童生徒の早期発見・対応へ向けたICTの活用
- 3. 自殺予防のあらゆる段階における関係機関等の連携体制の構築

児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめ概要(2021.6)

第I部

第2章コロナ禍における児童生徒の自殺予防等のために必要な今後の施策

- 1.すべての児童生徒を対象とする心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進
- 2.ハイリスクな児童生徒の早期発見・対応へ向けたICTの活用
 - GIGAスクール構想が進展していく中で、ICTは
 - 1)児童生徒が危機を発信する場合や、
 - 2)児童生徒の状況を把握する場合で の活用が期待され、
具体的な支援につなげるためのツールとして課題の早期発見に寄与。
- 3.自殺予防のあらゆる段階における関係機関等の連携体制の構築
 - 学校のみならず家庭等の課題に対応するためには、医療・保健・福祉等関係機関や地域との連携が不可欠。
 - 校内の教育相談コーディネーター，教育委員会の生徒指導担当，スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー等が関係機関との繋ぎ役を担う体制の強化。
 - 関係機関等の役割や限界性を理解するとともに、絶えず連携できる体制の在り方を点検、補強していくことが重要

8.3 自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造

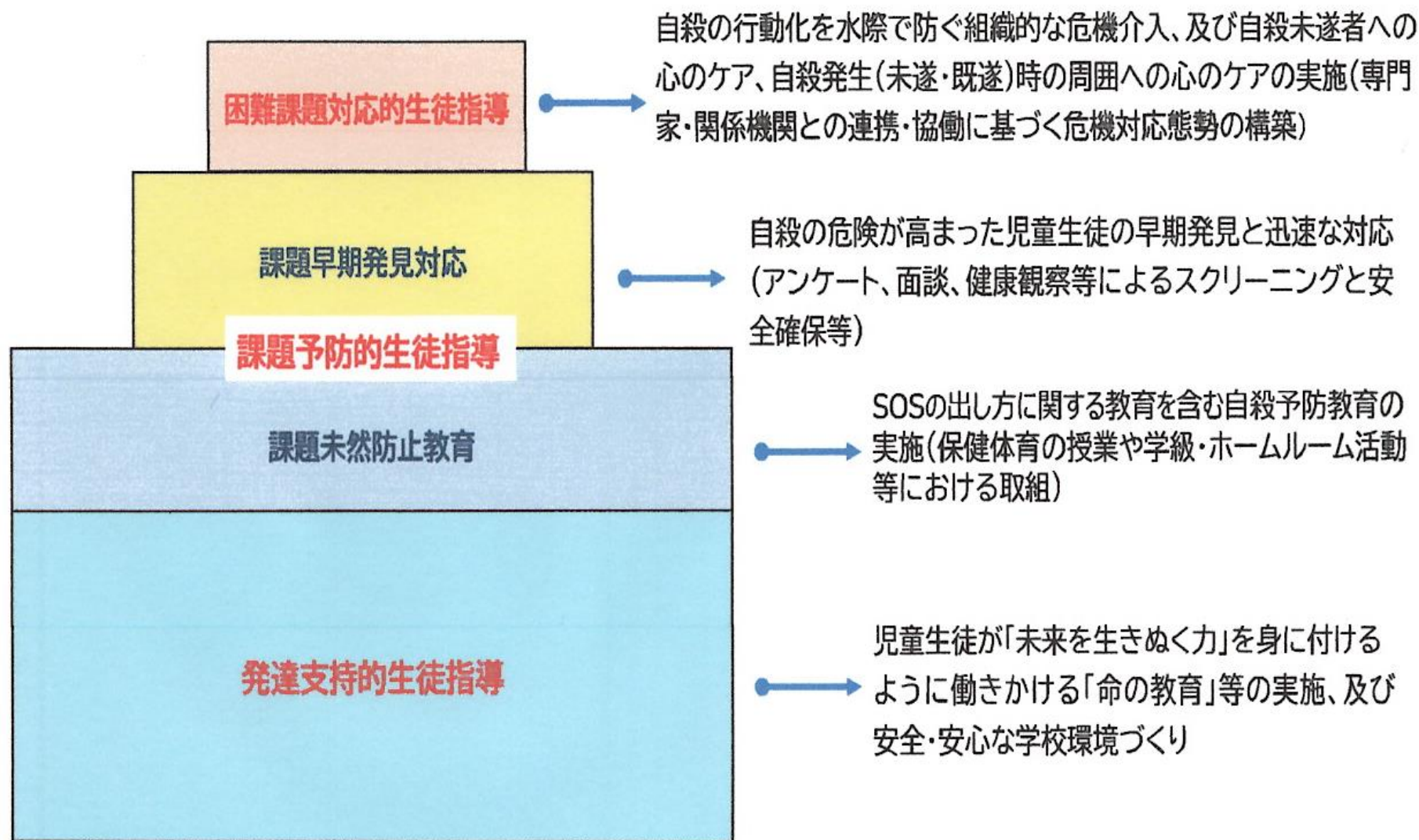


図 14 自殺予防に関する重層的支援構造

1.すべての児童生徒を対象とする心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進

• 心の健康教育の必要性・重要性

- 改正自殺対策基本法(2016):心の健康の保持に関する教育・啓発
- 自殺対策大綱(2017):SOSの出し方に関する教育
- 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめ(2021)
- 生徒指導提要(2022):課題予防的生徒指導(発達支持的生徒指導、課題未然防止教育)
- 中央教育審議会(2023):次期教育振興基本計画について答申:
社会情動的スキルやいわゆる非認知能力を育成,正義感、責任感、
自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力、社会性などを育む,性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者にさせないため、学校等における「生命(いのち)の安全教育」の全国展開を推進

But

効果的な実施を広げるためには、種々の条件整備が不可欠!

1.すべての児童生徒を対象とする心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進

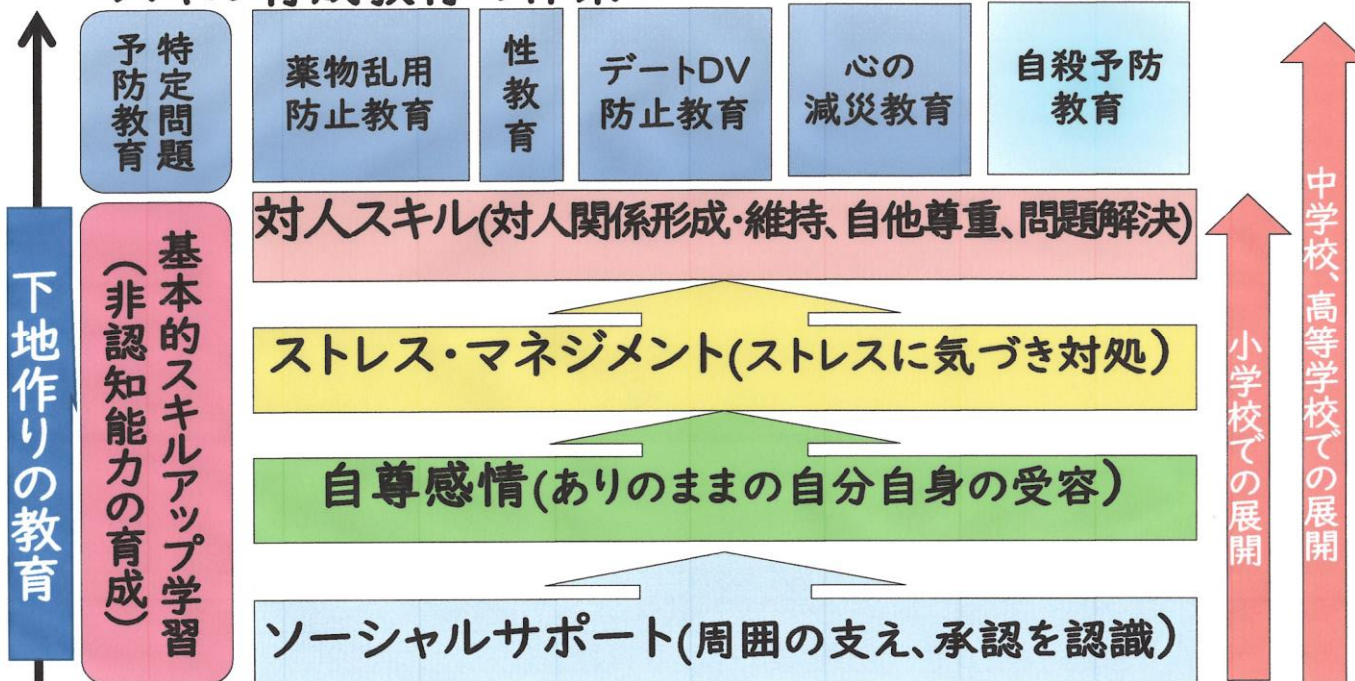
・条件整備その1:心の健康教育の体系化

- ・あらゆる問題の予防や解決に資する社会情動スキルを育成
- ・特定の問題の予防や解決を目指す教育



包括的心の健康教育モデル

- ・社会情動的スキル(非認知能力)・特定問題予防・解決スキル育成教育の体系



条件整備その2: 教育課程上への 位置づけ 「心の健康教育」 の教科化

↓
小学校から高校で
発達段階に応じた継
続的・恒常的实施を
保障

学校における自殺予防教育の全体像

核となる授業(自殺予防教育)

SOSの出し方に関する教育

早期の問題認識
(心の危機に気づく力の育成)

援助希求的
態度促進
(相談する力の育成)

包括的な
心の健康教育

下地づくりの教育

下地づくりの教育
生命を尊重する教育
心身の健康を育む教育
温かい人間関係を築く教育

安心・安全な環境

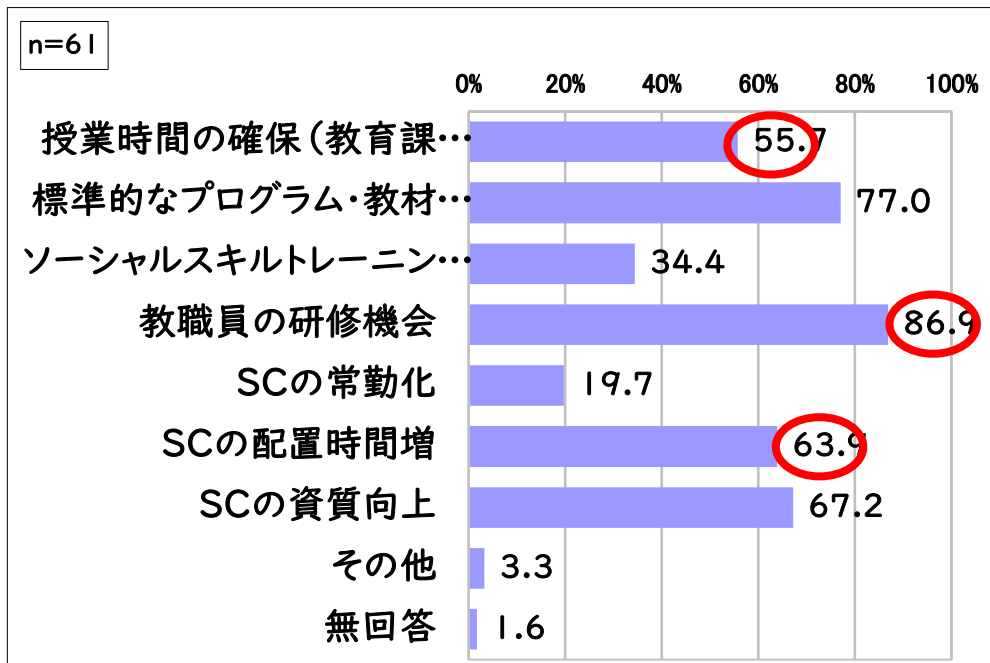
校内の環境づくり
健康観察 相談体制 生活アンケート

1.すべての児童生徒を対象とする心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進

• 条件整備その3:マンパワーの確保

• スクールカウンセラーの配置拡充

「心理教育(予防的教育相談)を継続的に進める上で必要だと思われること」(教育委員会)



スクールカウンセラーの配置拡充

- 教職員研修
- 指導案、教材開発への支援
- ティームティーチングで授業実施
⇒ 教職員の負担軽減、力量向上
⇒ 効果的な授業実施

文部科学省(2022)令和3年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」から

2.ハイリスクな児童生徒の早期発見・対応

・早期発見・対応へ向けたICTの活用

- ・児童生徒の危機の発信、児童生徒の状況把握に活用

⇒「1人1台端末を活用したいじめ・自殺等対策の取組事例」

https://www.mext.go.jp/content/2022224-mxt_jidou02-000020342-002.pdf



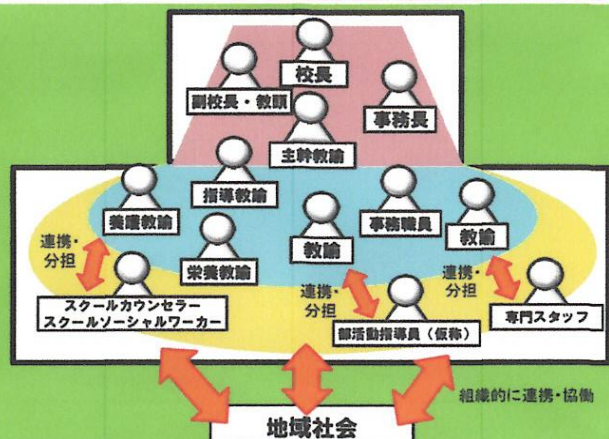
・教職員による気づき・見守り・支援

- ・児童生徒からの発信や教職員が把握した危機への対応

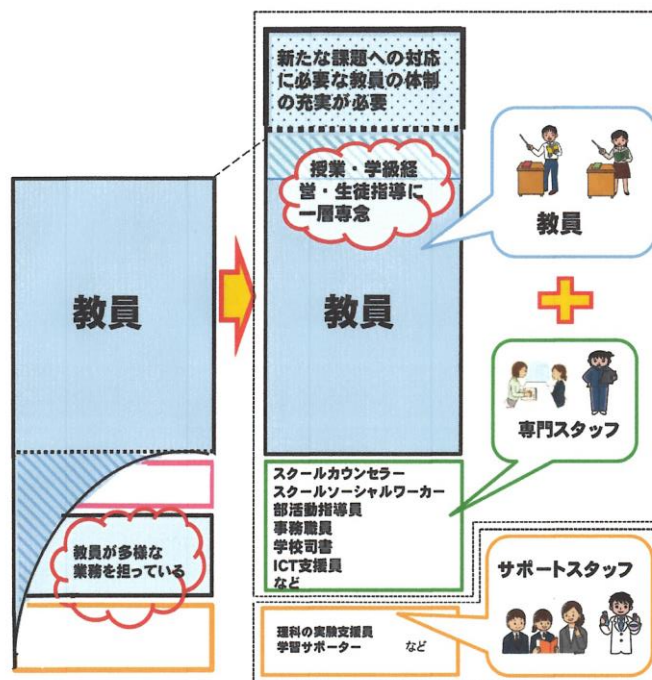
- ・←教職員の負担軽減、校内教育相談体制の整備 ⇔ チームとしての学校

チームとしての学校

- ・多様な専門人材が責任を伴って学校に参画し、教員はより教育指導や生徒指導に注力
- ・学校のマネジメントが組織的に行われる体制
- ・チームとしての学校と地域の連携・協働を強化



注) 専門スタッフとして想定されるものについては、本答申の22ページを参照。また、地域社会の構成員として、保護者や地域住民等の学校関係者や、警察、消防、保健所、児童相談所等の関係機関、青少年団体、スポーツ団体、経済団体、福祉団体の各種団体などが想定される。



チームとしての学校のあり方と今後の改善方策について
答申(2015)

→教員が教育指導・生徒指導に注力できる体制整備

⇒SC、SSWの法令上の位置づけ(学校教育法施行規則、2017)

⇒SC、SSWの教職員定数化、国庫補助の対象とすることについて検討。その後?

3. 自殺予防のあらゆる段階における関係機関等の連携体制の構築

- 学校のみならず家庭等の課題に対応するためには、医療・保健・福祉等関係機関や地域との連携が不可欠。
 - すべての児童生徒へのアプローチ：自殺予防教育を含む心の健康教育の外部講師として
 - リスクを抱える児童生徒の早期発見・対応：学校内外の専門家・専門機関への紹介
 - 自殺企図、自傷、自殺未遂等リスクが高い子どもへの支援
 - ⇒若者の危機対応チーム事業(厚生労働省)など

関係機関との連携の要・繋ぎ役が必須

＊現状は極めて不十分な配置

- 校内の教育相談コーディネーター：33教委/67教委(2015)
- スクールカウンセラー：年間0日、年間1日～9日、年間10日～19日(月 2回以下)で46.1%
- スクールソーシャルワーカー：配置0日(29.7%)、年間1日～9日(24.5%)、年間10日～19日(12.2%) 計65.4%

SCとSSW配置の地域格差

7時間以上：11自治体
4～7時間：34自治体
4時間未満：22自治体

	都道府県 政令指定都市	1校・1回 あたりの時間
1	名古屋市	40.6
2	相模原市	12.4
3	鳥取県	11.8
4	仙台市	10.4
5	千葉市	8.4
6	東京都	8.4
7	川崎市	8.0
8	佐賀県	7.9
9	京都市	7.3
10	福島県	7.1
11	札幌市	7.0
12	神奈川県	6.7
13	神戸市	6.7
14	福岡市	6.4
15	栃木県	6.4
16	広島市	6.4
17	静岡市	6.3
18	京都府	6.2
19	山梨県	6.0
20	横浜市	6.0
21	大阪市	6.0
22	さいたま市	5.9
23	愛知県	5.9

	都道府県 政令指定都市	1校・1回 あたりの時間
24	岐阜県	5.6
25	千葉県	5.6
26	福岡県	5.5
27	三重県	5.4
28	富山県	5.2
29	堺市	5.1
30	岩手県	5.0
31	大分県	4.8
32	山形県	4.8
33	静岡県	4.8
34	大阪府	4.8
35	兵庫県	4.8
36	浜松市	4.8
37	宮城県	4.7
38	和歌山県	4.6
39	高知県	4.6
40	埼玉県	4.5
41	徳島県	4.4
42	岡山県	4.3
43	福井県	4.3
44	広島県	4.3
45	石川県	4.1
46	岡山市	3.9
47	群馬県	3.8

	都道府県 政令指定都市	1校・1回 あたりの時間
48	長崎県	3.7
49	沖縄県	3.7
50	熊本市	3.5
51	滋賀県	3.3
52	新潟県	3.3
53	熊本県	3.3
54	新潟市	3.2
55	香川県	3.2
56	北九州市	3.2
57	山口県	3.2
58	茨城県	3.1
59	長野県	3.1
60	愛媛県	2.8
61	島根県	2.7
62	宮崎県	2.7
63	青森県	2.1
64	奈良県	1.9
65	秋田県	1.8
66	北海道	1.1
67	鹿児島県	0.7

・「令和2年度スクールカウンセラー等活用事業実践活動事例集」をもとに、一部情報が不十分なところは代表値等の推定値を使用して、都道府県と政令指定都市の、公立中学校のSC年間総配置時間数を算出し、標準的な年35回とした時の1校・1回あたりの時間を示した(表)

*下田・平田・吉村(2023)「公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置時間および研修に関する現状分析」

地域格差による影響

- 最も配置が進んでいる公立中学校でも、地域によって最大約22倍の差がある
- 国の1/3補助事業であるため、地域の財政力が影響している可能性 ※

※ 都道府県ごとの1校・1回あたりの配置時間を目的変数とし、総務省(2022)「令和2年度地方公共団体の主要財務指標一覧」における「財政力指数」を説明変数として、単回帰分析を行ったところ、財政力指数は、SC配置時間を有意に予測($\beta = .46$ [95%CI: .19—.73], $p < .05$, $R^2 = .21$, $SE = 1.80$)



生徒の受けられる支援に
地域差が生じている

7時間以上: 11自治体
4~7時間: 34自治体
4時間未満: 22自治体

- 配置が少ないと…
 - こころの健康教育など、**予防的な活動**の実施が困難
 - 早期対応**が困難
 - 学校内外での**連携**が困難



まとめ



• 学校における自殺予防

- 既にさまざまな通知・答申・提言等で、取組の方向性は示されています。
- それらを実行するための具体的な施策を講じてください

心の健康教育の恒常的实施体制

⇒次期学習指導要領に反映する方向での具体的検討

SC,SSWの配置拡充

⇒教職員定数化についての具体的検討

*SCについては、年間70回×8時間を提案¹⁾





参考資料



- 中央教育審議会 (2023) 次期教育振興基本計画について(答申)
- 文部科学省(2021)令和3年度児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめ
- 文部科学省 (2022) 令和3年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」報告書
- 文部科学省 (2022) 生徒指導提要
- 文部科学省 (2023) 令和4年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」報告書
- 文部科学省 (2022) 令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等, 生徒指導上の諸課題に関する調査
- 下田芳幸・平田祐太郎・吉村隆之 (2023) 公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置時間および研修に関する現状分析 佐賀大学教育学部紀要 7, 149-161.

